

### ＜先端部地区利用の心得の点検＞

釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4F

環境省 釧路自然環境事務所（担当：高瀬裕貴、中田一誠）

TEL：0154-32-7500

#### 1. 提案内容

|                             |   |
|-----------------------------|---|
| <p>キャッチ<br/>コピー<br/>・目的</p> | <p>知床半島先端部（以降、先端部地区と呼ぶ）における利用ルールである「先端部利用の心得」は、平成 16 年度に前身である「知床国立公園知床半島先端部地区利用適正化基本計画」が初めて策定されてから 10 年以上経過した他、平成 24 年度には知床エコツーリズム戦略が策定され、知床の観光利用は、（1）遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上、（2）世界の観光客に対する知床らしい良質な自然体験の提供、（3）持続可能な地域社会と経済の構築を将来目標（基本原則）として推進することとなった。こうした背景を踏まえ、知床エコツーリズム戦略に定める 3 つの価値と基本原則に沿って、この度、総合的な点検作業を行う。</p>  |
| <p>背景・理由</p>                | <p>先端部利用の心得が策定されてから 10 年以上経過した他、平成 24 年度には知床エコツーリズム戦略が策定され、知床における観光利用の基本方針や地域からの提案制度が整備された。先端部利用の心得が策定された平成 16 年に比すと陸路による知床岬方面等の利用者数の減少、クジラ類やヒグマを目的とした船舶ツアーの増加等、利用状況に変化が生じている。</p> <p>また、平成 25 年度第 2 回適正利用・エコツーリズム検討会議（以下、検討会議と呼ぶ）にて提案された知床岬赤岩地区羅臼昆布エコツアーは、先端部地区に属する赤岩地区の、昔ながらの漁業の歴史という人と自然との関わりを学ぶといった新たな利用の提案である。</p> <p>こうした知床の自然の利用状況の変化を踏まえ、知床エコツーリズム戦略に定める 3 つの価値と基本原則に沿って、これまでの利用の心得と実際の利用の状況等を点検する。</p> |
| <p>具体的<br/>提案内容</p>         | <p>関係行政機関・地域関係団体により構成される部会において、「利用の心得」の課題を総合的に洗い出し、必要に応じて見直しを行う。地域関係団体については、前回「利用の心得」の策定に参加していなかった地域関係団体にも参加を求める。</p>   |

## 2. 戦略の基本原則との対応

|  |
|--|
| ①遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上  |
| 「利用の心得」は、自然保護やリスクの軽減の観点から留意すべき事項や禁止事項を定め、その遵守を求めることにより先端部地区の風致景観と生態形を持続的に保全することを目的としており、点検を通し、ルールとしての機能をより高めることが期待できる。 |
| ②世界の観光客への知床らしい良質な自然体験の提供   |
| 点検を通して①の効果が得られるため、より良質な自然体験の提供に繋がる。  |
| ③持続可能な地域社会と経済の構築   |
| 点検を通して①の効果が得られるため、持続可能な地域社会と経済の構築に繋がる。   |

## 3. 検討部会の想定メンバー

|        |  |
|--------|--|
| 関係行政機関 | 釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、北海道、斜里町、羅臼町   |
| 地域関係団体 | 知床ガイド協議会、知床エコツーリズム推進協議会、羅臼漁業協同組合、ウトロ漁業協同組合、斜里第一漁業協同組合、羅臼遊漁釣り部会、知床羅臼町観光協会、知床羅臼観光船協議会、知床斜里町観光協会、知床小型観光船協議会、公益財団法人 知床財団、斜里山岳会、羅臼山岳会、知床自然保護協会、羅臼町郷土資料館、斜里町立知床博物館 |
| 専門家    | 中川 元（適正利用・エコツーリズム検討委員）   |